

# ミクロン精密 株式会社

## 2012年11月期 決算説明資料

◆本資料は投資を勧誘、推奨するものではありません。この情報に基づいての投資判断は、個人の責任において行ってください。

# 会社概要



- ◇事業内容 : <sup>しん</sup>心なし研削盤(センタレスグラインダ)  
内面研削盤(インターナルグラインダ)  
その周辺装置の製造、販売
- ◇社 是 : 技術と人柄
- ◇社員数(連結) : 214名
- ◇平均年齢(単体) : 40.7歳
- ◇業績(連結) : 売上高: 5,560百万円  
2012年11月期 経常利益: 1,494百万円  
(第53期) 当期純利益: 875百万円



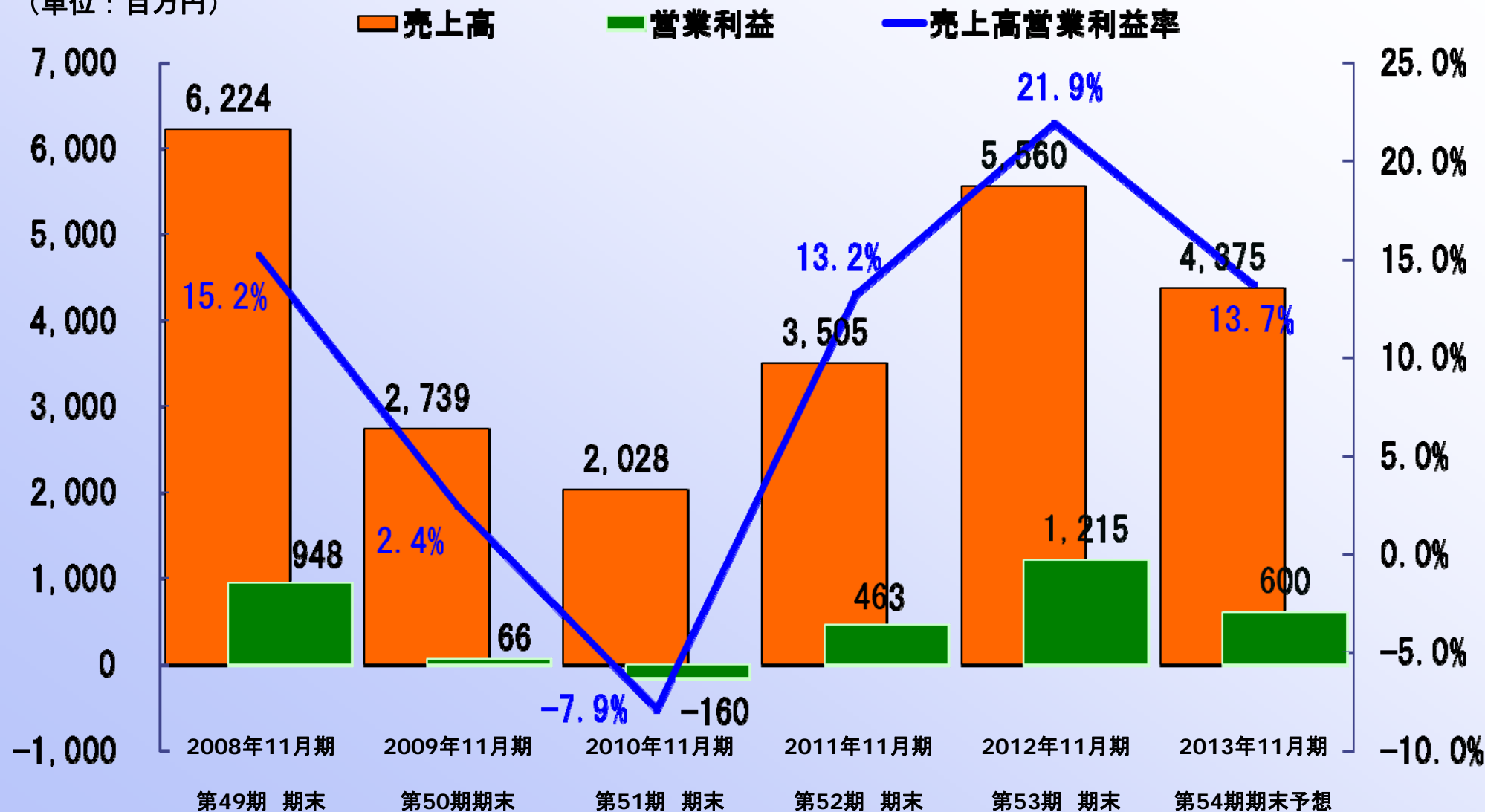
柄 欠 磨 鑽 技 【技術と人柄】

技術の研鑽と人柄の醸成を  
通じた社会貢献と人格育成

# 売上高の推移<通期>



(単位：百万円)



# 2012年11月実績 損益計算書比較(連結)



(百万円)

	2011年11月期 実績		2012年11月期 実績		前期 からの 伸び率
		百分比		百分比	
売上高	3,505	100.0 %	5,560	100.0 %	58.6 %
売上総利益	1,175	33.5 %	2,024	36.4 %	72.3 %
販売費及び一般管理費	711	20.3 %	809	14.6 %	13.8 %
営業利益	463	13.2 %	1,215	21.9 %	162.0 %
経常利益	399	11.4 %	1,494	26.9 %	273.0 %
当期純利益	441	12.6 %	875	15.7 %	98.2 %
1株当たり配当金	45.00円		50.00円		

売上高につきましては、受注の回復傾向が見られたことから、前期実績を20億5千4百万円上回り、55億6千万円となりました。営業利益につきましては、売上高の増加に加え、生産効率の向上等により、前期実績を8億4千9百万円上回り、12億1千5百万円となりました。経常利益につきましては、営業利益の増加に加え、為替変動による為替差益(営業外収益)1億8千6百万円を計上したこと等により、前期実績を10億9千4百万円上回り、14億9千4百万円となりました。当期純利益につきましては、経常利益の増加等により、前期実績を4億3千3百万円上回り8億7千5百万円となりました。



# 2012年11月予想と実績 損益計算書(連結)

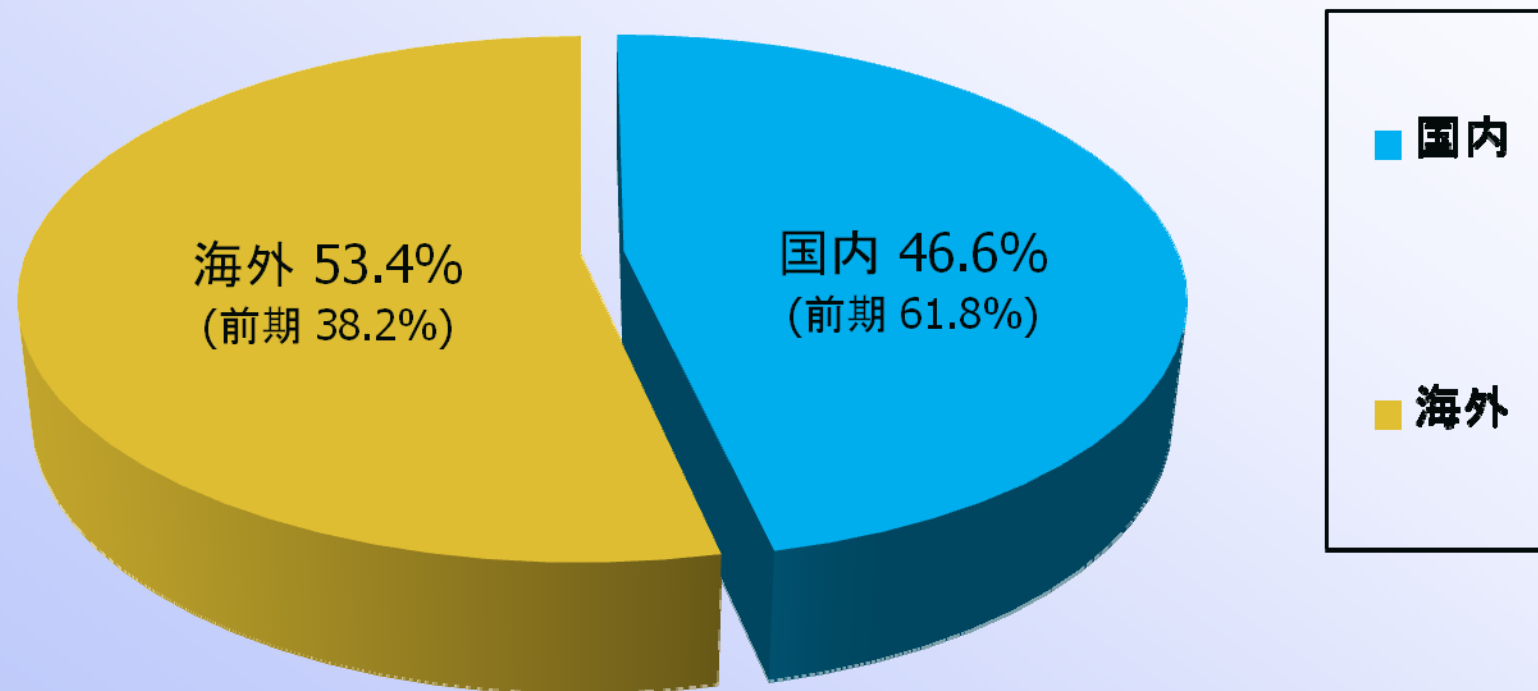


(百万円)

	2012年11月期 予想		2012年11月期 実績		予想からの 伸び率
		百分比		百分比	
売上高	5,741	100.0 %	5,560	100.0 %	-3.2 %
売上総利益	1,933	33.7 %	2,024	36.4 %	4.7 %
販売費及び一般管理費	842	14.7 %	809	14.6 %	-3.9 %
営業利益	1,091	19.0 %	1,215	21.9 %	11.3 %
経常利益	1,170	20.4 %	1,494	26.9 %	27.7 %
当期純利益	758	13.2 %	875	15.7 %	15.4 %
1株当たり配当金	40.00円		50.00円		

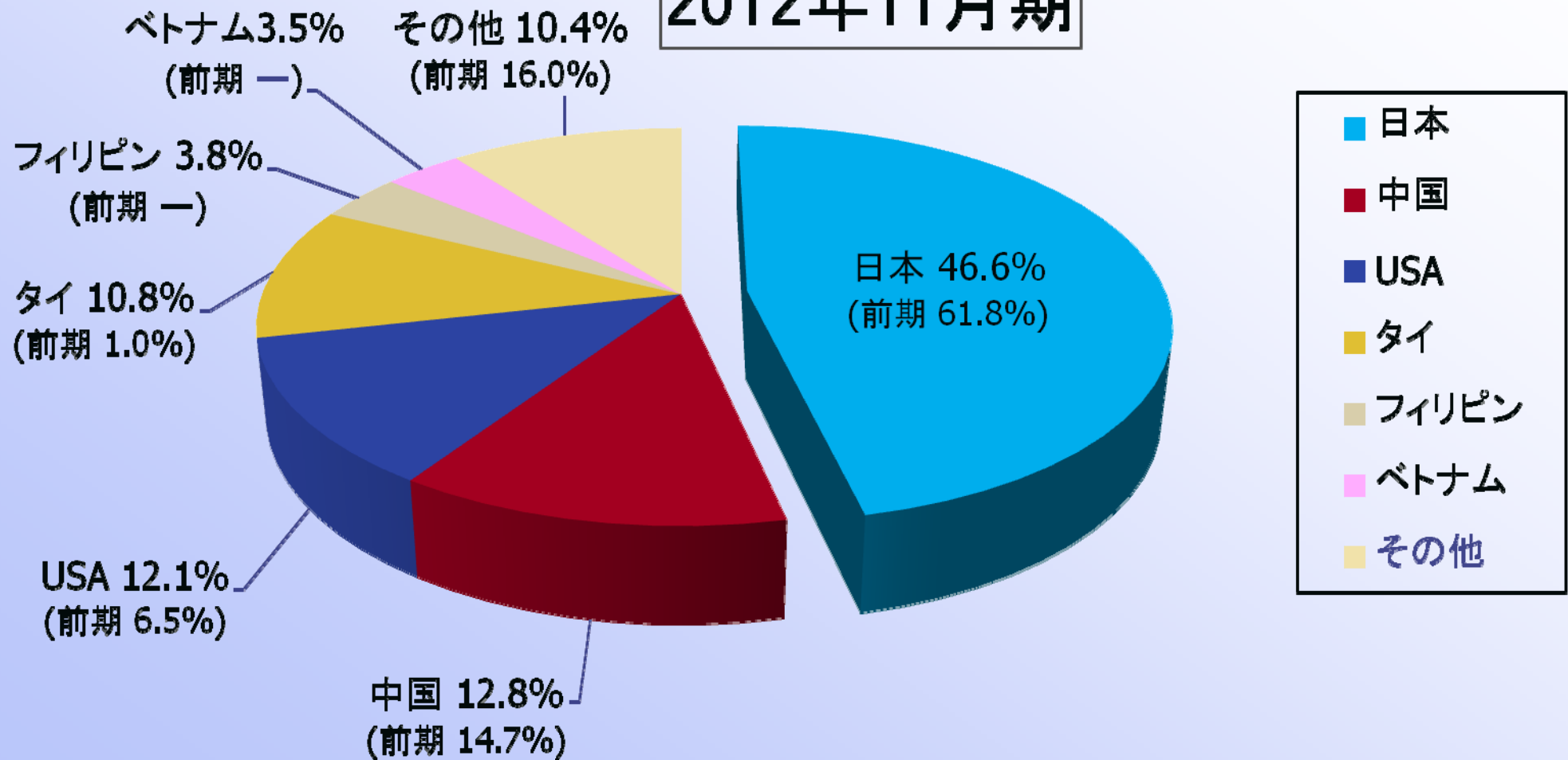
# 国内・海外売上比率

2012年11月期



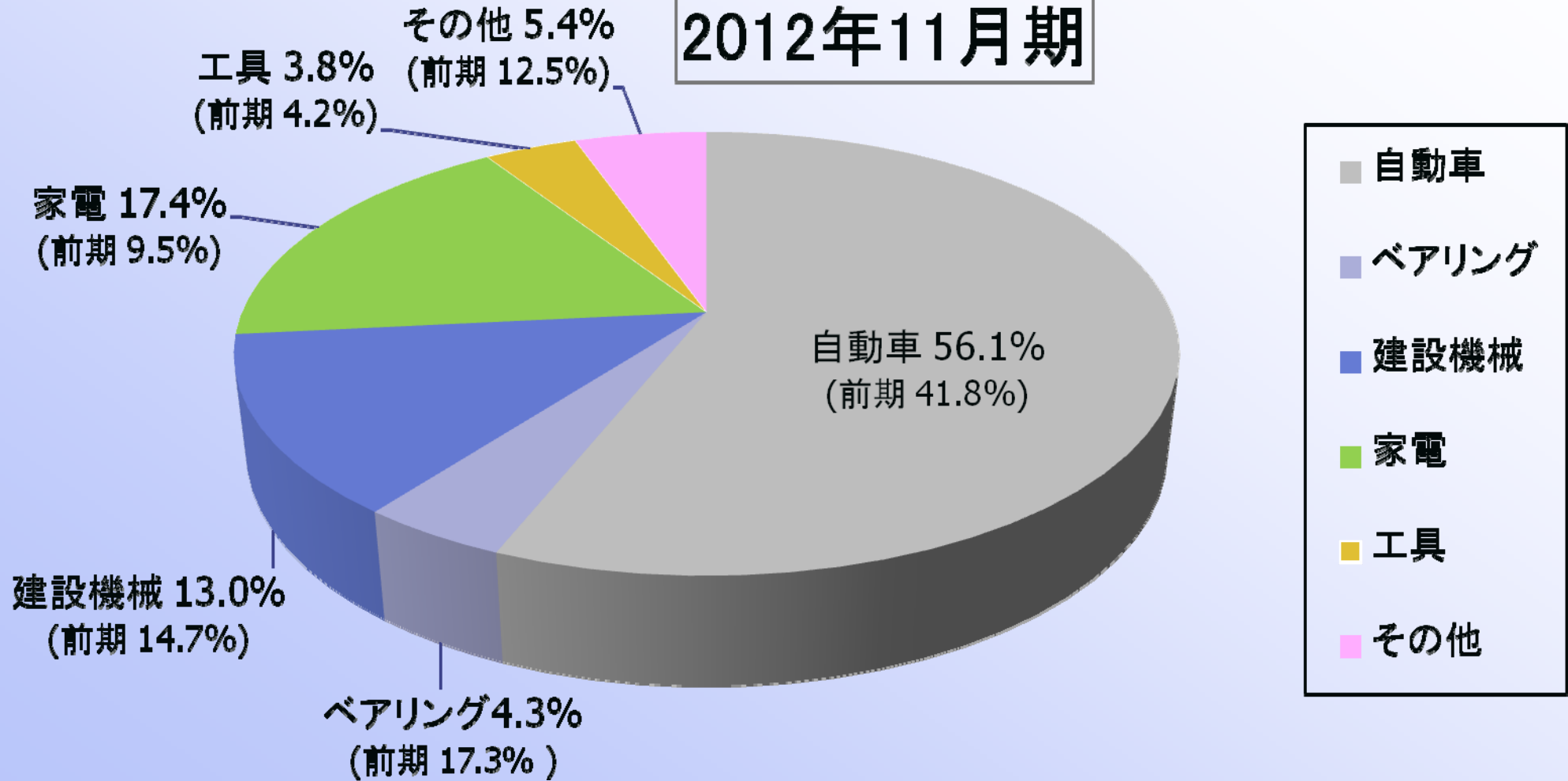
# 国別売上比率

2012年11月期



# 業種別売上比率

2012年11月期





# 2012年11月期実績 品目別売上高(連結)



(百万円)

	2011年11月期 実績		2012年11月期 実績		前期からの 伸び率
	売上高	百分比	売上高	百分比	
心なし研削盤	2,624	74.9 %	4,305	77.4 %	64.0 %
内面研削盤	324	9.3 %	705	12.7 %	117.9 %
部品	516	14.7 %	486	8.7 %	-5.8 %
その他	40	1.1 %	63	1.2 %	54.3 %
合計	3,505	100.0 %	5,560	100.0 %	58.6 %

需要の増加が見られる新興国をはじめとした海外への販売展開の強化を図るとともに、国内外の市場及びお客様の期待に合致した製品づくりの追求を行ったことにより、受注の増加傾向が見られ、売上高全体が前期より増加しました。

- タイ洪水被害復旧
- 高利益機種割合
- 生産効率化
- 上期受注好調、下期半減

# 2013年11月期業績予想 損益計算書(連結)



(百万円)

	2012年11月期実績			2013年11月期予想		
		百分比	前期からの伸び率		百分比	前期からの伸び率
売上高	5,560	100.0%	58.6 %	4,375	100.0 %	-21.3 %
売上総利益	2,024	36.4 %	72.3 %	1,383	31.6 %	-31.7 %
販売費及び一般管理費	809	14.6 %	13.8 %	783	17.9 %	-3.2 %
営業利益	1,215	21.9 %	162.0 %	600	13.7 %	-50.6 %
経常利益	1,494	26.9 %	273.6 %	657	15.0 %	-56.0 %
当期純利益	875	15.7 %	98.2 %	409	9.4 %	-53.2 %

売上高につきましては、領土問題から発した近隣諸国との関係悪化の長期化や、不透明な停滞感から、設備投資は抑制ぎみと思われるものの、種々の業種に対する積極的な販売展開の強化を図ることで、対前期比21.3%減の43億7千5百万円となる見込であります。営業利益につきましては、売上高の減少による売上総利益の減少に加え、工場移転に伴う設備投資を計画していることから、6億円を見込んでおります。経常利益につきましては、有価証券利息等の営業外収益を見込んでいることから6億5千7百万円、当期純利益は4億9百万円を見込んでおります。

# 2013年11月期業績予想品目別売上高(連結)



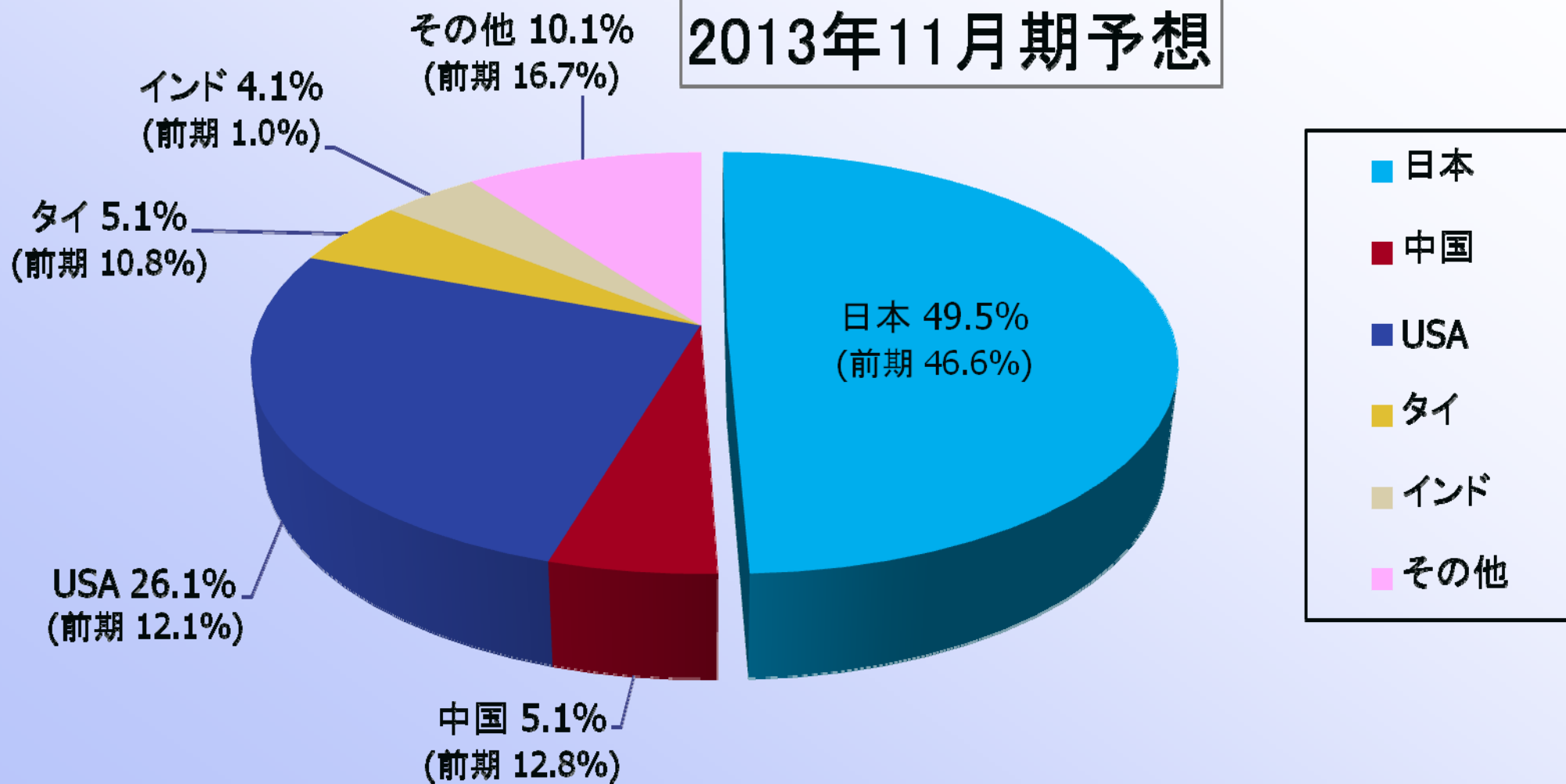
(百万円)

	2012年11月期実績			2013年11月期予想		
	売上高	百分比	前期からの伸び率	売上高	百分比	前期からの伸び率
心なし研削盤	4,305	77.4 %	64.0 %	3,404	77.8 %	-20.9 %
内面研削盤	705	12.7 %	117.6 %	493	11.3 %	-30.1 %
部品	486	8.8 %	-5.8 %	420	9.6 %	-13.6 %
その他	63	1.1 %	54.3%	57	1.3 %	-9.2 %
合計	5,560	100.0 %	58.6 %	4,375	100.0 %	-21.3 %

専用機的要素の高い内面研削盤の落ち込みが大きく、サービス等の部品は企画的落ち込みが小さいと予想しております。

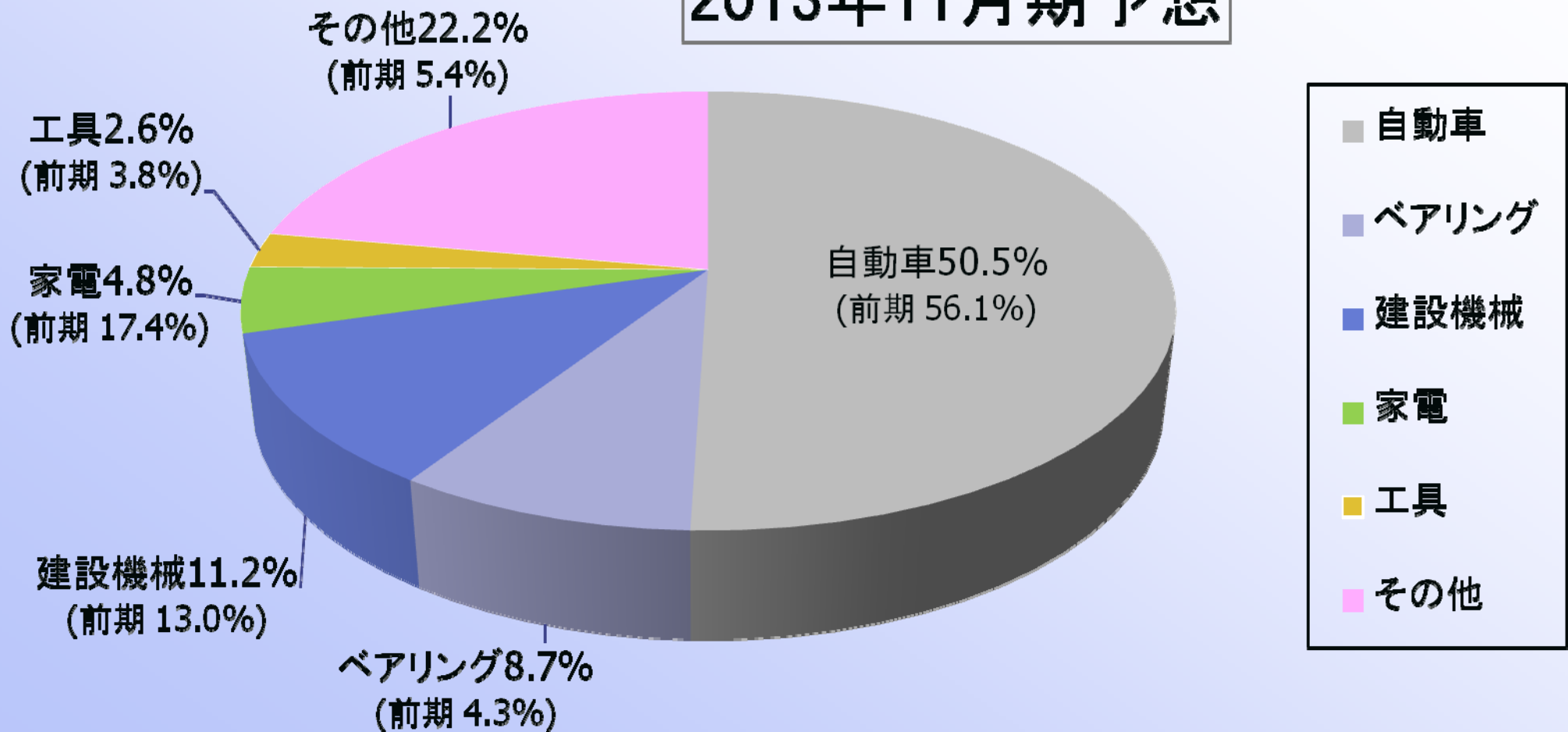
# 国別売上比率 (2013年11月期予想)

2013年11月期予想



# 業種別売上比率 (2013年11月期予想)

2013年11月期予想





- 拡大するアメリカ市場
- 不透明な中国市場
- 建機設備投資縮小
- 低価格機

## 世界最高峰と社員の幸せを目指して

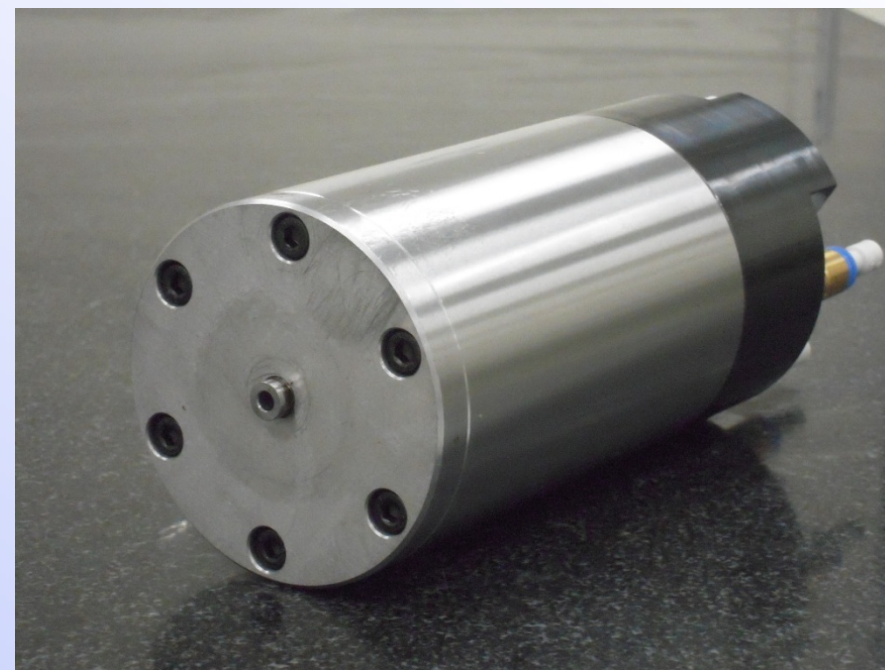
1. **強みを極める弛まざる研究開発**
2. **成長市場への集中**
3. **新規市場への参入**
4. **人財育成**

## ◆ 自社製高周波スピンドル販売開始

高周波スピンドル 150,000rpm

### 自社製高周波スピンドルの開発

これまでスピンドルサプライヤーに頼っていた高周波スピンドルを剛性を高め自社製として開発、内面研削盤へ搭載。



# 強みを極める弛まざる研究開発

## ◆ 中型・高速脱着センタレスの開発

心なし研削盤 MPC-450HP-CS

好評のMPC-250HP-CS型機  
の大径加工物向け  
中型センタレス研削盤

CS型機のラインアップを充実させることにより、更なる差別化を図り新市場の開拓。



MPC-250HP-CS型機の研削デモ

## ◆設置面積A1サイズ小型センタレスの開発

### 心なし研削盤 MPC-150HP-A1

コストパフォーマンスに  
優れた戦略的小型機

コンクリートベットを採用することにより、  
設置面積A1サイズとした省スペース機  
を開発、ラインアップの充実を図る。



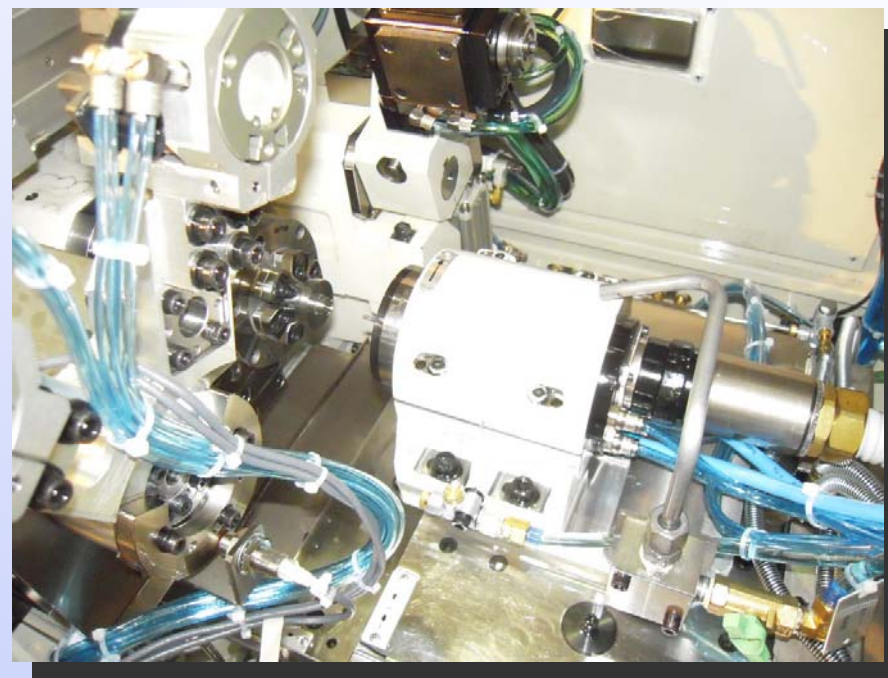


- ◆ **マイクロ超音波・電解ハイブリッド内面加工装置の開発**  
(東北大学厨川研究室と共同開発、経済産業省委託事業)

## ハイブリッド内面研削盤

**超音波振動と電解作用を利用した  
新たな研削技術を開発。**

小径内周面や各種難削材の高精度  
・高能率研削を目指す。





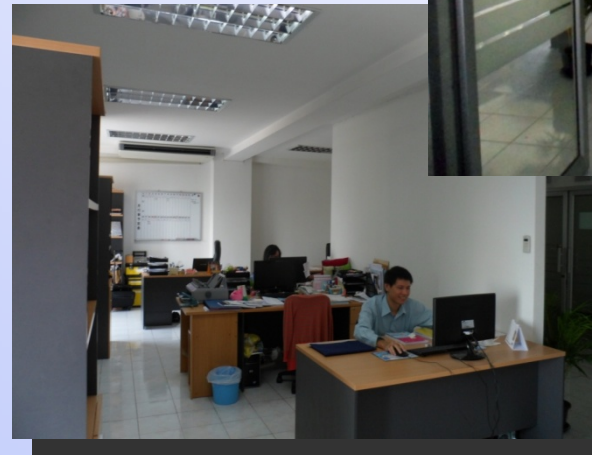
## ◆タイ王国の営業所拡張、ショールーム開設

タイ王国(バンコク)に新たにショールームを開設

営業体制強化のため、  
現地でデモ機によるテスト研削を可能にする。



ショールーム 2013(平成25)年2月開設予定



Micron Machinery (Thailand)  
事務所入り口と内部

## ◆R&Dセンター着工

新たに、蔵王みはらしの丘に上山市より工場用地を無償譲渡を受け、R&Dセンター(研究開発拠点)を新たに着工

### R&Dセンター

テスト研削・研究開発部門の拡張移転を図り、新規市場への参入を目指す。  
(球体、平面研削盤)



R&Dセンター(完成予想図) 2013(平成25)年8月完成予定

## 生産効率向上、ムダ削除の推進

◆生産効率向上、ムダ削除の結果として  
売上総利益の上昇、販売奨励費削減

◆正味稼働時間率向上と  
外部原価低減によるコストダウン目標 15%

◆ものづくりは人づくり  
ブラザーシスター制の導入 ～技能・技術の伝承と鍛錬～  
技術、知識の向上 ⇒ 生産効率向上 人柄の醸成



●将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保證するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

問い合わせ先 管理部

電話 : 023-688-8112

FAX : 023-688-8545

<http://www.micron-grinder.co.jp/>